

1. 木質バイオマス関連情報

■(株)長大(東京)、山梨県で木質バイオマスガス化発電事業を加速。同社は山梨県南部町と協働し、小規模(800kW/h)分散型、熱分解方式の木質バイオマスガス化発電事業に取り組んでいる。2017年4月に同社主体の特別目的会社(SPC)を設立。2019年3月20日付で「再生可能エネルギー(木質バイオマスガス化)発電事業計画の認定」を取得し、2020年4月からの商業運転を目指して発電所建設を進めている。発電施設は隣接する町営プールに排熱を供給し、災害発生時には非常用電源として町民に供給する。建設コンサルタントが自ら発電事業者として排熱の供給および災害時の電力供給を行うシステムとしては日本初【(株)長大：2019/04/08】

<http://www.chodai.co.jp/news/2019/04/013002.html>

■中部電力(株)(愛知)、2018年12月19日に廃止した尾鷲三田火力発電所(三重県尾鷲市)跡地の再開発を本格化。中部電力と地元自治体などが連携して構想案を固め、木質バイオマス発電の排熱を魚介類の養殖や農作物の栽培に用いる。4月1日付で総務室に「尾鷲創生推進グループ」を設置し、2024年までに木質バイオマス発電所と太陽光発電所の運転を開始する計画【電気新聞：2019/04/11、中部電力(株)：2018/12/19】

<https://www.denkishimbun.com/archives/39553>

https://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub_release/press/3269748_21432.html

■再生可能エネルギーの利用拡大に取り組む東京都と(公財)東京都環境公社が、東京都西多摩郡檜原村にある「檜原都民の森」へ再生可能エネルギー由来のFIT電気を供給するため、指定管理者である檜原村と電気供給契約を締結。調達する電気は、気仙沼地域エネルギー開発(株)(宮城)のバイオマス発電由来の電気と、調布まちなか発電(株)(東京都)の太陽光発電由来の電気。契約電力は64kW。供給する電気の再生可能エネルギーの割合は90%(2017年度実績)。4月22日より供給開始【東京都：2019/04/17】

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/04/>

[17/04.html](#)

■アジア開発キャピタル(株)(東京)子会社のCleath Energy Malaysia Sdn. Bhd.(以下「CEM」、マレーシア)およびFuji Biomass Energy Sdn. Bhd.(以下「FBE」、同)が、日本国内の事業会社(社名は非公表)との間でバイオマス発電燃料の長期供給契約締結を決定したと発表。アジア開発キャピタルは、PKSをマレーシアで加工し、主に日本のバイオマス発電事業者を顧客とする商社向けに出荷している。今回CEMは保証会社、FBEは販売会社として2019年7月～2022年6月までの契約出荷期間の間、合計3万～5万t出荷する予定【アジア開発キャピタル(株)：2019/04/18】

<http://www.asiadevelop.com/wp->

<content/uploads/2019/04/20190418.pdf>

■経産省資源エネルギー庁、「総合エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会新エネルギー小委員会バイオマス持続可能性ワーキンググループ(第1回)」を4月18日に開催。平成30年度の調達価格等算定委員会において多くの種類の新規燃料を活用するニーズが明らかになり、多様な燃料に対応することができる様々な基準・認証の検討が必要となるとともに、RSPOなどの第三者認証によって持続可能性の確認を行うこととされているパーム油に関しても、RSPO以外の基準・認証を活用する具体的なニーズが明らかになった。このような状況を受けて同ワーキンググループを設置。バイオマス燃料の持続可能性の論点として挙げられる「環境」・「社会・労働」・「食料競合」・「ガバナンス」の確認手段として、確認の対象・確認の主体・確認の時期の観点から検討するとしている。2019年度の調達価格等算定委員会で新規燃料の取扱いが検討できるよう、2019年秋頃を目途に一定の取りまとめを得ることを目指す【経産省資源エネルギー庁：2019/04/18】

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinene/shinenergy/biomass_sus_wg/001.html

■経産省資源エネルギー庁、2019年4月22日に「第13回総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会／電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会」を開催。委員会はこれまで再生可能エネルギーの「主力電源化」を打ち出すとともに、系統制約の克服に向けた論点について集中的に議論し、第1次中間整理（2018年5月）の内容を第5次エネルギー基本計画に反映（フェーズ1）。その後再生可能エネルギーを社会に安定的に定着した主力電源とするため現行制度下での政策対応について更に論点を深掘りし、第2次中間整理（2019年1月）を取りまとめた（フェーズ2）。今後は2019年4月からフェーズ3に入るとして、「脱炭素化社会に向けた電力レジリエンス小委員会」における電力インフラの総合的な検討と並行しながら、2020年度末までに行う旨が規定されているFIT制度の抜本的な見直しに向けて、「再生可能エネルギーを巡る制度そのものを含めた政策措置の在り方」や「次世代電力NWの在り方」について議論していく【経産省資源エネルギー庁：2019/04/22】

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/013.html

■経産省近畿経済産業局（大阪）、「平成30年度バイオマスの有効活用による廃棄物の排出抑制と環境調和型産業の創出に向けた調査」事業報告書を取りまとめ、公表。2016～2017年度にバイオマス利活用技術に関する知的財産等の調査を実施し、特許事例等の取りまとめを行った上、これらについて継続的に拡充を図るため、2018年度は「バイオマスの有効活用による廃棄物の排出抑制の事例」や「環境に調和した地域産業創出に向けた取り組みの最新動向」等についても調査。全国から10件の事例を選定し、PRシートを作成。調査報告書、PRシート共サイトで公開中【経産省近畿経済産業局：2019/04/23】

https://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyo/H31R1fy/biomass_report30.html

■環境省と経産省が4月23日に「第49回 中央環境審議会地球環境部会産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会合同会合」を開催。議事は「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（仮称）（案）について」。開催資料をサイトで公開【経産省：2019/04/23】

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/chikyukankyo/chikyukankyo_godo/049.html

■北陸電力（株）（富山）が4月25日、2020年3月期～31年3月期に平均350億円以上の連結経常利益を目指すとする長期ビジョンを発表。北陸電が長期ビジョンを発表するのは32年6カ月ぶり。利益拡大に向けて電気事業と新規事業などの成長分野に計2000億円以上を投資する考え。電気事業ではほぼゼロだったバイオマス発電で新たに15億kW時増やすなどし、他社からも再生可能エネの受電を行って再生可能エネによる発電量を20億kW時積み増しする。そのほか志賀原発の再稼働を目指し、2031年3月期までに総販売電力量を400億kW時と19年3月期から3割増やす。ただ、2019年3月期の経常益66億円を今期から平均で5倍以上上げることが必要となり、金井豊社長はじめ経営陣の覚悟が問われることに【日本経済新聞：2019/04/26、北陸電力：2019/04/25】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ044216150V20C19A4LB0000/?ct=ga>

<http://www.rikuden.co.jp/press/attach/19042502.pdf>

■バイオマスボイラを設計・製造するボイラーメック・ホールディングス（マレーシア）、インドネシアの東ジャワ州で工場用地を取得すると発表（4月23日）。グループ100%出資の現地法人ボイラーメック・マニファクチャリング・インドネシアが現地のマスピオン・インダストリアル・エステートから3万㎡の敷地を1,566万リンギ（約4億2,000万円）で取得する。パーム油生産量が世界首位のインドネシアで、パーム搾油工場用ボイラの工場を建設し、製造したボイラをインドネシア国内で販売する【AsiaX：2019/04/25】

<https://www.asiax.biz/news/49899/>

■ジャパン・リニューアブル・エナジー（株）（東京）、茨城県神栖市に建設していた木質バイオマス専焼発電所「JRE神栖バイオマス発電所」の営業運転を5月1日に開始。発電所の事業主体は、同社グループ会社の合同会社JRE神栖バイオマス発電（茨木）。発電能力は24,400kW。燃料として必要な約18～20万t/年の木材すべてを国内から調達する予定で、建設リサイクル材、間伐材由来の未利用材、製材端材または大型開発行為にて伐採された木質材を燃料化した一般材を使用。燃料は全てグループ会社である（株）エコグリーンホールディングスより供給する。発電量は約2億kWh/年（約5万4,000世帯分の年間消費電力量相当）で、東京電力パワーグリッド（株）が売電先【ジャパン・リニューアブル・エナジー（株）：2019/05/01】

<http://www.jre.co.jp/works/biomass.html>

■京都府福知山市で三恵観光（株）（京都）が運営する「三恵福知山バイオマス発電所」の周辺で、同施設から発生する稼働音や臭気を巡って住民から相次ぐ苦情。夜間も響く低音に睡眠不足を訴える住民もいるが、発電所側は環境基準を満たしていると主張し、対立状態が続いている。同発電所は国内では珍しいパーム油を燃料とし、2017年6月に稼働。約2,600世帯分の発電が可能で、電力会社に売電している。稼働前に開いた住民説明会では「屋外騒音は50デシベル以下を目指す」としていたが、稼働が始まると隣の住宅街に「ボー」という低音が響き、油が焦げたような臭いが漂った。住民が行った調査では発電所近くの民家前で60デシベルを超える稼働音を計測。4月下旬には地元自治会が発電所側に、夜間の稼働停止やさらなる騒音対策を求める要望書を提出した【京都新聞：2019/05/01】

<https://www.kyoto->

<np.co.jp/politics/article/20190430000081&ct=ga>

■再生可能エネルギー発電を手掛ける「(株) G-Bio イニシアティブ」(東京)が、宮城県石巻市にバイオマス発電所建設を計画。予定地は三陸沿岸道石巻港インターチェンジの北約4kmの同市須江にある山林約8万㎡。出力10万2,750kW。年間消費電力で一般家庭約23万世帯分の発電を見込む。燃料には乾燥地や塩害地で栽培できるマメ科植物から精製する新しい液体バイオマス燃料を採用。アフリカなどの海外で栽培・精製し、石巻港で陸揚げ後、発電所まで陸送する計画。宮城県の環境影響評価(アセスメント)条例の手続きを進めており、7月までに通知される知事意見書を踏まえて現地調査に入る予定。2021年4月着工、2024年6月運転開始を目指す【河北新報：2019/05/03】

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201905/20190503_12011.html

■日本紙パルプ商事（株）（東京）、同社連結子会社の野田バイオパワーJP（岩手）が「灰再資源化事業」での産業廃棄物を不適正処理していた件で、社内調査委員会より調査報告書を受領したと発表（4月25日）。報告書では、責任者が廃棄物処理法を正しく理解していなかったことや、造粒固化物が有価物と判断されるか否かは地方自治体間で判断が異なるといった灰再資源化事業の特殊性を前提としつつ「原因分析と問題点」を挙

げ、「再発防止策」の提言が載せられている【環境ビジネスオンライン：2019/05/07、日本紙パルプ商事（株）ニュースリリース：2019/04/25、2019/04/26】

<https://www.kankyo-business.jp/news/022391.php>

<https://www.kamipa.co.jp/>

■山形県上市市金谷の「山形バイオマスエネルギー（株）」発電施設において今年2月に起きた爆発事故で、同社と設計・施工を請け負った「テスナエナジー（株）」（東京）が4月26日、山形市内で事故後初めて記者会見を実施。5月11日にはこの記者会見で言及していた住民説明会を開催。事故現場の金谷地区の住民約60人が参加。テスナエナジーの山本社長は想定上の事故原因と断った上で、配管内の酸素の排気が不十分で、配管内にあった残存酸素と貯蔵タンク内の水素やメタンの混合ガスが結びつき、エンジンから漏れ出た炎が配管を伝って引火し爆発した可能性が高いと説明。住民からは「事故はヒューマンエラーで起きた」「専門家が施設を管理している割には、事故原因が稚拙すぎる」といった不信や、説明内容自体を疑問視する質問が相次ぎ、複数の住民から再稼働に反対する強い意見も出た【毎日新聞：2019/04/27、産経新聞：2019/05/12】

<https://mainichi.jp/articles/20190427/dtl/k06/040/179000c>

<https://www.sankei.com/affairs/news/190512/afr1905120002-n1.html>

■日本製紙（株）、2020年1月に洋紙生産を停止する同社北海道工場勇払事業所の新規事業として検討していた木質バイオマス発電について、2023年1月から稼働することを正式に発表（5月10日）。製紙原料の調達などで関わりを持つ双日（株）（東京）と今年2月に設立した「勇払エネルギーセンター合同会社」が運営する（出資比率は日本製紙51%、双日49%）。使用する燃料は輸入木質チップ、PKS、国内未利用材で、一般家庭の年間消費電力で約16万世帯分に相当する7万4,950kWを発電。FITを利用し、すべて北海道電力に売電する。木質材のみを原料とするバイオマス発電所としては国内最大級。発電所建設は2020年3月着工、2023年1月運開予定【苫小牧民報、日本製紙（株）：2019/05/10】

<https://www.tomamin.co.jp/news/main/16250/>

<https://www.nipponpapergroup.com/news/year/2019/news190510004431.html>

■国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が、温暖化ガスの排出量を正確に把握するための算定手法を示した指針（ガイドライン）を改定し、5月13日公表。IPCC総会は5月8日から京都市で開幕し、約130の国・地域の科学者や政府関係者ら約360人が参加。温暖化ガスの排出量を把握するための指針を改定して採択し、12日夜に閉幕した。新たな指針では2006年にできた現在の指針では地域の実情に合わず、正確な計測が難しくなっていたため、排出量の算定方法を見直し、新興国でも現状に合わせて項目別に細かく把握できるようにした。農業分野では森林開発等に伴う排出量の変化が分かるようにしたほか、家畜の排せつ物から出るメタンの排出などを把握する算定手法も盛り込んだ。日本の温暖化ガス観測衛星「いぶき2号」などによる観測データも活用する方針。宇宙から衛星で観測した地上のCO₂のデータをもとに温暖化ガス排出量の把握につなげる。新たな指針は年末の国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP）での合意を経て正式に導入される見通し【日本経済新聞：2019/05/13】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO44705340T10C19A5M0000/>

■木質バイオマス発電所から排出される燃焼灰を肥料原料などに製品化する研究が広島大学（広島）で進行中。広島大学大学院工学研究科化学工学専攻の福井国博教授は、燃焼灰に肥料として使われるカリウムが含まれていることに注目し、特にカリウムを多く含んだ燃焼灰だけを捕集する研究に2014年から取り組んできた。木質バイオマスプラントの受注が増えており、今後も大量に出てくる燃焼灰を有効活用するだけでなく、約2万円/tの処分費用がかかっていた燃焼灰を肥料メーカーに買い取ってもらうことで発電コストを改善。バイオマス発電所の競争力を高め、さらなる再生可能エネルギーの普及を促進する【電気新聞：2019/05/14】

<https://www.denkishimbun.com/archives/40338>

■イーレックス（株）（東京）、2030年度までのロードマップを盛り込んだ中期経営計画をまとめ、公表。電力小売りを収益の

柱に据えつつ、新たに運転を始めるバイオマス発電所による発電事業を強化し、2021年度決算の売上高を2018年度実績の658億円から1,650億円に伸ばし、経常利益100億円（2018年度は42億円）の達成を目指す。発電事業では、既に稼働中の土佐、佐伯発電所（合計70MW）以外に2021年までに豊前、大船渡、沖縄発電所が稼働開始予定（合計199MW）。さらに2024年に運開を目指す坂出（75MW）とメガバイオ（300MW）を含めると、合計出力644MWに到達見込み。特にメガバイオ発電所はFIT制度を使用しない日本初の大型バイオマス発電プロジェクトで、中期経営計画期間は最終意思決定に向けた調査を行うとしている。同時に燃料事業をグローバル展開してサプライチェーンの充実と強化に取り組み、メガバイオ向けの経済性と品質を満たす燃料の調査、選定を行う他、PKS、木質ペレットに続く新燃料の開発も計画している【イーレックス（株）：2019/05/13、電気新聞：2019/05/15】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9517/tdnet/1704171/00.pdf>

<https://www.denkishimbun.com/archives/40385>

■（株）タクマ（兵庫）、5月14日に2019年3月期連結決算を発表。FITによるバイオマス発電施設の建設等が好調で増収増益。連結会計年度の業績は、ごみ処理プラントやバイオマス発電プラントを中心に引き続き堅調な需要を受け、主にこれらの建設工事や運営事業の受注増加により、受注高は前期に比べ27億1,200万円増加の1,798億2,900万円に。また、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗したことから、売上高は37億5,200万円増加の1,219億5,000万円となった。同社は今後も、売上高の大部分を占める「環境・エネルギー（国内）事業」におけるバイオマス発電プラントの更なる受注獲得や、「環境・エネルギー（海外）事業」での海外におけるバイオマス発電プラントの継続的な受注確保に向けて取り組みを進める【ひょうご経済+：2019/05/15、（株）タクマ；2019/05/14】

<https://www.kobe->

np.co.jp/news/keizai/201905/0012330909.shtml

<https://www.takuma.co.jp/investor/pdf/statementaccounts/2018/Consolidated.pdf>

2. ペレット関連情報

■内子バイオマス発電合同会社（愛媛県内子町）が4月8日、稼働中の木質バイオマス熱分解ガス化発電プラントからの FIT 売電をスタート。導入された発電システムはブルクハルト社（ドイツ）製の木質ペレットガス化熱電併給装置6基。発電出力は1,115kW、燃料は（有）内藤鋼業（同）が地元産未利用材から木質ペレットを最大5,700t/年製造し、供給。発電量は約883万kWh/年の見込みで、このうち送電量は約811万kWh/年、売電先は四国電力（株）（香川）【OSR No.368:2019/04/17、シン・エナジー（株）】

https://www.symenergy.co.jp/business_ec/uchiko/

■（株）京浜バイオマスパワー（神奈川）の燃料倉庫などが燃えた4月16日未明の火災について、市消防局が26日午後3時半に鎮火したと発表。防火造平屋の倉庫約1万5,000㎡が全焼したが、けが人はなかった。同局によると16日午前2時頃、倉庫につながる東洋埠頭所有のベルトコンベヤーから出火。倉庫の開口部が少なく放水が難しかったことに加えて、火は高さ約7mに積まれた木質ペレットやPKSなどの燃料（約4万㎡）の山の内側に向かって燃え進んだため、放水した水が火に届きにくく消火に時間がかかった。同局は消防艇や中原消防署に配備している大型ポンプ車で海水をくみ上げて放水を続けたほか、消防ヘリも投入。重機で倉庫の外壁を崩して燃料をかきだすなどの作業も行い、延べ消防車両225台と消防隊員約1,000人が出動した。今後、川崎臨港署と出火原因などを調べる。出光興産（株）（東京）は同発電所の稼働を停止し、4月17日には火災事故に対する対策本部を本社ビル内に設置、4月26日からは本件に関する問合せ窓口を開設し、対応していた【東京新聞：2019/04/27、出光興産（株）：2019/04/26】

<https://www.tokyo->

[np.co.jp/article/kanagawa/list/201904/CK2019042702000132.html](https://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/list/201904/CK2019042702000132.html)

<https://www.idss.co.jp/whatsnew/index.html>

■日立造船（株）（大阪）、大成建設（株）（東京）との共同企業体にて、徳島津田バイオマス発電所合同会社（徳島）より「徳島津田バイオマス発電所」の建設工事を受注。徳島津田バイオマス発電所合同会社は、（株）レノバ（東京）、大阪ガス（株）（大阪）、NEC キャピタルソリューション（株）（東京）、三菱電

機クレジット（株）（東京）、（株）ゲンボク（徳島）、大利木材（株）（徳島）、徳島電機産業（株）（徳島）が出資する特別目的会社。発電所は徳島県徳島市津田海岸町に建設予定。木質ペレットを主燃料とし、アンドリッツ社（オーストリア）製循環流動層（CFB）ボイラおよび再熱再生式蒸気タービンから構成され、発電能力が74.8MW。日立造船は主に発電設備の供給・据付・試運転を実施する。さらにグループ会社のHitz環境サービスとの共同企業体にて、同設備の20年間の運営・保守も受注している。運転開始は2023年3月の予定【日立造船（株）：2019/04/26】

<https://www.hitachizosen.co.jp/news/2019/04/003273.html>

■イーレックス（株）（東京）、バイオマス燃料の調達を強化。今年3月末にロシア政府系機関との間で覚書を交わした木質ペレット200万t/年を輸入する件について4月から本格的な協議を進めており、早ければ3年後の輸入開始を目指す。ベトナムからの調達も別途検討を進める。国内で稼働している大分県佐伯市の佐伯発電所（出力50MW）および高知県高知市の土佐発電所（出力20MW）に加え、2020年以降には定格出力50～75MWの大型発電所4件の運転開始が相次ぐことから、安定・安価な燃料調達体制の構築を急ぐ【電気新聞：2019/05/10】

<https://www.denkishimbun.com/archives/40256>

■富山県射水市の工務店経営者らが、建築廃材や果樹剪定枝等をペレットにして再利用。市内で工務店を営む松原恭二さんが、お金を払って処分していた建設廃材を有効利用できないかと考え、昨年工務店仲間とNPO法人「おがっX研究会」を設立。くぎが刺さっていたり、ボルトが残っていたりする建設廃材を破砕機で細かく砕き、金属を取り除いてペレットにしている。果樹の枝や庭木は果樹園や農家から伐採で出たものの引取り依頼があった際に香りが良いことに着目。薫製に使えるペレットにすることを思い付き、様々な樹種で研究を重ね、桜、カエデ、リンゴ、ナシ、モモ、ヒノキの6種類を開発。ペレット作りで出たおがくずについても「捨てるのはもったいない」と着火剤の材料に。これら商品は地元JAの直売所で販売している。研究会は移動式のペレットピザ釜を用意して、市内外のイベントなどでピザ焼き体験会を開き、ペレットの普及にも取り組む【北国新聞：2019/05/15】

<https://www.hokkoku.co.jp/subpage/T20190515203.htm>

■北海道胆振東部地震被害の倒木を、道内 16 事業者が連携して撤去作業。今年 3 月に (株) イワクラ、王子木材緑化 (株) 北海道支店、日本製紙木材 (株) 北海道支店 (いずれも北海道) の代表 3 社が、効率的な復旧工事や倒木の有効活用推進などを目的に国や道、厚真町と協定を締結。行政の発注を受け、土場に搬出された倒木を協力事業者が加工場に運搬し、木材やバイオマス燃料などに再利用している。協定締結前から緊急工事に対応してきたイワクラは、3 月までに約 3,300 m³の木材を処理。このうち全体の 35%を占める丸太は梱包材や木質ペレット、同 38%の根などは木質チップに加工。王子木材緑化は 284 m³分の丸太を木質チップに加工。江別市の発電所では枝を発電するための原料に使用した。日本製紙木材は約 7,000 m³分の丸太や枝などを受け入れ、製紙用パルプや木質ボイラ用木材チップに処理。作業が順調に進む一方で全体の倒木量はまだ把握できておらず、完全撤去には約 3~4 年かかるとも言われている。事業者は「1 年以上経過すると品質が低化し燃やすしなくなる」とし、取引価格の値下がり「事業収支に影響する可能性もある」と懸念する【苫小牧民報：2019/05/17】

<https://www.tomamin.co.jp/news/main/16300/>

■七ツ島バイオマスパワー合同会社 (鹿児島県鹿児島市)、鹿児島市内に建設していた七ツ島バイオマス発電所を竣工したと発表 (5 月 8 日)。七ツ島バイオマスパワー合同会社は (株) IHI (東京) のほか、東京センチュリー (株) (東京)、(株) 九電工 (福岡)、鹿児島海陸運送 (株) (鹿児島)、(株) 島津興業 (鹿児島)、南国殖産 (株) (鹿児島)、日本瓦斯 (株) (東京)、(株) 鹿児島銀行 (鹿児島)、九電みらいエナジー (株) (福岡) の 9 社で構成。発電所の土地は IHI が鹿児島市内に保有する一部 (約

6 万 2,000 m²) を使用。ボイラなどの主要機器は IHI グループが納入。燃料は PKS、木質ペレット、国内間伐材を使用。年間で約 20 万 t の CO₂ 排出削減に貢献できる見通し。出力は 4 万 9,000kW (一般家庭約 77,000 世帯分に相当) で、発電した電力は 20 年間全量を九州電力 (株) (本部：福岡) に売電する。IHI にとって国内でバイオマス発電事業を行うのは初【(株) IHI：2019/05/08、電気新聞：2019/05/09】

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2019/other/2019-5-08/index.html

<https://www.denkishimbun.com/sp/40484>

■木質ペレット輸入でベトナムが躍進。財務省/通関統計の一般通関と特別通関を合わせた全通関でオンサイト・レポート誌が集計したものとによると、2019 年 1~3 月現在の 3 か月間累計では、木質ペレット輸入で 1 位に君臨してきたカナダ (143,302t) の 1.34 倍にあたる 192,456t がベトナムから輸入されており、輸入数量は全ソース国の中でシェア 53%と断トツ【OSR No.371：2019/05/15】

■ユーロストーブ (〔有〕河西) (神奈川)、2019 年 5 月改訂のテルモロッシ社 (イタリア) 製ペレットストーブカタログをサイトにアップ。PDF ファイルでダウンロード可。同じくテルモロッシ社のペレットボイラ「COMPACT Class5 シリーズ」の簡易パンフレット、イタリアのペレットストーブ用掃除機「CENETOP (総輸入元は新潟の北越融雪 (株))」の製品仕様も各サイトに追加し、ペレット燃焼機器関連の商品情報が益々充実【ユーロストーブ (〔有〕河西)：2019/05/15】

<https://www.pellet-stove.jp/>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報 (国内)

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■ウータン・森と生活を考える会 第 13 回パーム油学習会
「パーム油発電は本当に”再生可能”なエネルギーなのか？」～FIT によるバイオマス発電の課題と現状～
月日 2019 年 6 月 1 日 (土)

場所 エル・おおさか (大阪府立労働センター) 南館 7 階 7 2 号室 (大阪府大阪市)

https://docs.google.com/forms/d/1So-cXkvG0Y-x_xkou63YqCgrpJOHea0kr3einupaDj4/viewform?edit_requested=true

■（特非）日本環境倶楽部 JEC 総会講演会「今、何を考えなくてはならないのか？」—バックキャスト思考が教えてくれる脱炭素社会のかたち—

月日 2019年6月4日（火）

場所 （株）NTT データエグゼクティブセミナールーム（東京都江東区）

<https://www.kankyoclub.or.jp/event/1906-1.html>

■（公財）イオン環境財団「第29回イオン環境活動助成公募説明会」

月日 2019年6月5日（水）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）

https://www.aeon.info/ef/environmental_activities_grant/public_offering/about.html

■バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ2019」

月日 2019年6月5日（水）～6月7日（金）

場所 東京ビッグサイト青海展示棟（東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/expo/>

◎日本ペレットストーブ工業会「第1回ジャパン・ペレットストーブ・ショー」

月日 2019年6月6日（木）

場所 総曲輪グランドプラザ（富山県富山市）

<http://pstove.jp/>

■NPO 法人農都会議2019年度総会記念講演会『「シュタットベルケ研究」—地域エネルギー・インフラサービス会社の課題と実現方法を考える—』

月日 2019年6月11日（火）

場所 港区神明いきいきプラザ4階集会所A（東京都港区）

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/254>

■グローバルCCSインスティテュート「Japan CCS フォーラム2019」

月日 2019年6月12日（水）

場所 イイノホール&カンファレンスセンター A会議室（フォーラム）、B会議室（意見交換会）（東京都千代田区）

<https://www.kokuchpro.com/event/japanccsforum2019/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「地形から高尾の山の成り立ちを考える」

月日 2019年6月14日（金）

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

■地球・人間環境フォーラム「第39回フェアウッド研究部会」

月日 2019年6月14日（金）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）

<http://www.geoc.jp/event/seminar/detail/?no=3435>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第184回研究会「バイオマス利用の動向2018年～2019年」

月日 2019年6月19日（水）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（東京都渋谷区）

http://www.geoc.jp/rashinban/event_detail_36868.html

◎九州薪・木質ペレット活用協議会（KFWA）「熊本県木質バイオマス実践研修ツアー」

研修ツアー：2019年6月20日（木）～21日（金）昼

オプションツアー：2019年6月21日（金）夜～22日（土）

場所 熊本県内および近隣都市

<http://kbiomass.org/category/news/>

■NPO 法人市民電力連絡会「SDGsで考える～持続可能な再生可能エネルギーとは？」

月日 2019年6月22日（土）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）

http://www.geoc.jp/rashinban/event_detail_36880.html

■林野庁「みどりの学術賞受賞記念講演会」

月日 2019年6月22日（土）

場所 中央合同庁舎 8 号館 1 階内閣府講堂（東京都千代田区）
http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/190517.html

■（一社）緑の循環認証会議（SGEC）「PEFC 設立 20 周年記念・SGEC/PEFC 国際森林認証フォーラム～もつと認証製品を消費者の手に！～」
月日 2019 年 6 月 24 日（月）
場所 石垣記念ホール（東京都港区）
https://sgec-pefc.jp/index.php?HP_news20190517

■（公社）環境生活文化機構「第 23 回環境文化講演会～資源循環社会に向けた世界・日本の現状と今後について～」
月日 2019 年 6 月 25 日（火）
場所 航空会館 201 会議室（東京都港区新橋）
<http://www.elco.or.jp/introduction/event.html>

■バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ 2019 九州」
月日 2019 年 6 月 26 日（水）～27 日（木）
場所 マリンメッセ福岡（福岡県福岡市）
<https://www.biomassexpo.info/>

◎バイオマスエキスポフォーラム 2019 九州
月日 2019 年 6 月 26 日（水）
場所 マリンメッセ福岡会場内セミナー会場 B（福岡）
<https://www.biomassexpo.info/>

■第 14 回再生可能エネルギー世界展示会（RE2019）
月日 2019 年 7 月 10 日（水）～7 月 12 日（金）
場所 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）
<http://www.renewableenergy.jp/>

■岩手・木質バイオマス研究会 2019 年度総会/総会併催講演会「地域から考える木質バイオマス利用・久慈編」
月日 2019 年 7 月 13 日（土）
場所 岩手県民情報交流センター“アイーナ”5F（501 会議室）（岩手県盛岡市）
<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3>

[%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/](http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/190517.html)

■NPO 法人農都会議 分散型エネルギー関係団体共同イベント「地域型バイオマスフォーラムーバイオマス分散型エネルギー創出による地域サービスを考えるー」
月日 2019 年 7 月 19 日（金）
場所 国立オリンピック記念青少年総合センターセミナーホール（東京都渋谷区）
<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/265>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成 31 年度（前期）森林講座「殺して活かす、ニホンジカー捕獲個体から得られるアレコレー」
月日 2019 年 7 月 19 日（金）
場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

◎バイオマスエキスポ実行委員会
・「次世代森林産業展 2019 FORESTRISE 2019 Innovative & Integrative Woods Industries」
・「バイオマスエキスポ 2019 Nagano」
月日 2019 年 8 月 1 日（木）～8 月 3 日（土）
場所 ビッグハット/若里ホール（長野県長野市）
<http://www.forestrise.jp/>

■（一社）日本エネルギー学会「第 28 回日本エネルギー学会大会」
月日 2019 年 8 月 7 日（水）～8 日（木）
2019 年 8 月 9 日（金）はテクニカルツアー
場所 関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市）
<https://www.jie.or.jp/publics/index/664/>

◎（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「2019 年度バイオマス夏の学校」
月日 2019 年 9 月 3 日（火）～4 日（水）
場所 愛媛県内のバイオマス関連施設、製紙工場
<https://www.jie.or.jp/publics/index/472/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「火に負けない木づかい」

月日 2019年9月13日（金）

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

◎リードエグジビジョンジャパン（株）「国際バイオマス展（関西展）」

月日 2019年9月25日（水）～27日（金）

場所 インテックス大阪（大阪府大阪市住之江区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展/ウッドエコテック2019」

月日 2019年10月3日（木）～6日（日）

場所 ポートメッセなごや「名古屋市国際展示場」（愛知県名古屋市）

<https://mokkiten.com/>

■福島県「第2回ふくしま植樹祭～ABMORI～」

月日 2019年10月6日（日）

場所 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（福島県安達郡大玉村）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/2syokuzyusai.html>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「放射能に汚染されたシイタケ原木林の利用再開に向けて」

月日 2019年10月11日（金）

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

■びわ湖環境ビジネスmesse実行委員会「びわ湖環境ビジネスmesse2019」

月日 2019年10月16日（水）～10月18日（金）

場所 長浜バイオ大学ドーム（滋賀県長浜市）

<http://www.biwako-messe.com/>

■（公財）福島県産業振興センター「第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア」

月日 2019年10月30日（水）～31日（木）

場所 ビックパレットふくしま（福島県郡山市）

<http://reif-fukushima.jp/>

◎（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2019内、第41回ジャパンホームショー」

月日 2019年11月13日（水）～15日（金）

場所 東京ビッグサイト西1～4ホール（東京都江東区）

<https://www.jma.or.jp/homeshow/>

■（一社）日本能率協会「バイオマスエキスポ2019 秋」

月日 2019年11月20日（水）～22日（金）

場所 東京ビッグサイト西3.4ホール（東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/>

■日本経済新聞社、他「第1回環境・再エネ・レジリエンス展気候変動・災害対策Biz2019」

月日 2019年12月4日（水）～6日（金）

場所 東京ビッグサイト[南1・2ホール]（東京都江東区）

<https://messe.nikkei.co.jp/cc/>

■日本経済新聞社文化事業局イベント事業部「エコプロ2019」

月日 2019年12月5日（木）～7日（土）

場所 東京ビッグサイト西・南ホール（東京都江東区）

<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

◎リードエグジビジョンジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

月日 2020年2月26日（水）～28日（金）

場所 東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会（ISAP2020）」

月日 2020年4月20日(月)～24日(金)

場所 幕張メッセ(千葉県千葉市)

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880>

■日報ビジネス(株)「2020 NEW 環境展」/「2020 地球温暖化防止展」

月日 2020年4月22日(水)～24日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府)

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

月日 2020年9月9日(水)～11日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek

内バイオマス展」【東京展】

月日 2021年3月3日(水)～5日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日報ビジネス(株)「2021 NEW 環境展」/「2021 地球温暖化防止展」

月日 2021年5月

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek 内バイオマス展」【関西展】

月日 2021年9月29日(水)～10月1日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

4. イベント情報(海外)

◆OLEOFUELS

月日 2019年6月5日(水)～6日(木)

場所 ベニス(イタリア)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/oleofuels/>

◆Asean Sustainable Energy Week 2019

月日 2019年6月5日(水)～8日(土)

場所 バンコク(タイ)

<http://www.asew-expo.com/>

◆SkogsElmia

月日 2019年6月6日(木)～8日(土)

場所 ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/SkogsElmia/>

◎4th Pellet Forum

月日 2019年6月10日(月)～11日(火)

場所 クラクフ(ポーランド)

<https://epc.bioenergyeurope.org/events/4th-pellet-forum/>

◆35th Annual International Fuel Ethanol Workshop & Expo

月日 2019年6月10日(月)～12日(水)

場所 インディアナ州インディアナポリス(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◆8th Forum of Biomass and Waste

月日 2019年6月12日(水)

場所 ホジュフ(ポーランド)

<https://www.cbepolska.pl/>

◆EXPOBIOGAZ

月日 2019年6月12日(水)～13日(木)

場所 リール(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en>

◎VICTAM INTERNATIONAL 2019

月日 2019年6月12日(水)～14日(金)

場所 ケルン (ドイツ)

<https://victaminternational.com/>

◎International Pellet Conference 2019

月日 2019年6月14日(金)

場所 ケルン (ドイツ)

<https://epc.bioenergyeurope.org/events/international-pellet-conference-2019/>

◆ASTURFORESTA

月日 2019年6月20日(木)～22日(土)

場所 ティネオ (スペイン)

<http://en.asturforesta.es/>

◆11th ASIA Sustainable Oil Palm Summit

月日 2019年7月2日(火)～3日(水)

場所 ジャカルタ (インドネシア)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190717&>

◎Biomass to Power North America

月日 2019年7月10日(水)～11日(木)

場所 ノースカロライナ州ローリー (USA)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/biomass-to-power-north-america/>

◆Smart Home Energy Management Systems Conference 2019

月日 2019年7月17日(水)～18日(木)

場所 マサチューセッツ州ボストン (USA)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/connected-smart-home-energy-management/>

◆INDO RENERGY 2019 Expo & Forum

月日 2019年7月17日(水)～7月19日(金)

場所 ジャカルタ (インドネシア)

<http://www.indorenergy.com/>

◆25. Internationale Forstmesse

月日 2019年8月15日(木)～18日(日)

場所 ルツェルン (スイス)

<http://www.forstmesse.com/htm/home.htm>

◆The 8th Asia-Pacific Bioenergy Exhibition

The 6th Asia-Pacific Bioenergy Summit

月日 2019年8月16日(金)～18日(日)

場所 広州市 (中華人民共和国)

<http://www.apbechina.com/index.php?lang=en>

◆POWERGEN Asia Conference & Exhibition

月日 2019年9月3日(火)～5日(木)

場所 クアラルンプール (マレーシア)

<https://www.powergenasia.com/en/index.html>

◆Forest Romania 2019

月日 2019年9月5日(木)～7日(土)

場所 ジジン (ルーマニア)

<http://www.forestromania.com/en/>

◆Future Resource 2019

月日 2019年9月11日(水)～12日(木)

場所 バーミンガム (UK)

<http://www.futureresourceexpo.com/>

◆13th Carbon Dioxide Utilization Summit

月日 2019年9月11日(水)～12日(木)

場所 カルガリー (カナダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2-canada/>

◆11th ASIA Sustainable Oil Palm Summit

月日 2019年9月12日(木)～13日(金)

場所 ジャカルタ (インドネシア)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190717&>

◆Advanced Biofuels Conference

月日 2019年9月17日(火)～19日(木)

場所 スtockホルム (スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2/>

◆Renewable Energy India Expo

月日 2019年9月18日～20日

場所 グレーター・ノイダ (インド)

<https://www.renewableenergyindiaexpo.com/>

◆EXPOBIOMASA 2019

月日 2019年9月24日(火)～26日(木)

場所 バリャドリッド (スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/>

◆3rd Biomass Trade and BioEnergy Africa

月日 2019年9月25日(水)～26日(木)

場所 アビジャン (コートジボワール)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190921&>

◆Comfort Home 2019

月日 2019年9月27日(金)～29日(日)

場所 リガ (ラトビア)

<http://www.comforthome.lv/eng/>

◆EFE 2019 - 3rd Trade Fair for Energy Efficiency in Industry

月日 2019年10月2日(水)～3日(木)

場所 クラクフ (ポーランド)

<http://www.efe.krakow.pl/gb/>

◎USIPA 2019 Exporting Pellets Conference

月日 2019年10月6日(日)～8日(火)

場所 フロリダ州マイアミビーチ (USA)

<https://theusipa.org/2019-conference>

◆Austrofoma 2019

月日 2019年10月8日(火)～10日(木)

場所 エステルハーザー・フォルヒテンシュタイン (オーストリア)

<http://www.austrofoma.at/en/allgemeine-infos.html>

◆The 11th PALMEX Indonesia 2019

月日 2019年10月8日(火)～10日(木)

場所 北スマトラ州 (インドネシア)

<http://www.palmoilexpo.com/conference-schedule.html>

◆Argus Biofuels

月日 2019年10月8日(火)～11日(金)

場所 ロンドン (UK)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels>

◆14th Carbon Dioxide Utilisation Summit

月日 2019年10月9日(水)～10日(木)

場所 デュッセルドルフ (ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

◆IGEM 2019 - International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia

月日 2019年10月9日(水)～10月11日(金)

場所 クアラルンプール (マレーシア)

<http://www.igem.my>

◆Progress in Biomethane Mobility

月日 2019年10月15日(火)～17日(木)

場所 シュヴェービッシュ・ハル (ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/conference-biomethane-mobility-oct2019>

◆NAEE 2019 - Nigeria Alternative Energy Expo

月日 2019年10月15日(火)～10月17日(木)

場所 アブジャ (ナイジェリア)

<http://www.nigeriaalternativeenergyexpo.org/>

◆Argus Biofuels & Carbon Markets Summit

月日 2019年10月21日(月)～23日(水)

場所 カリフォルニア州ナパバレー (USA)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels-and-carbon-markets>

◆International Biomass Congress & EXPO

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 ブリュッセル (ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

◆International Biogas Congress & EXPO

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 ブリュッセル (ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

◆biofuels international Conference & Expo

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 ブリュッセル (ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

◆GLOBAL BIOFUELS SUMMIT

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 シンガポール (シンガポール)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=191022&>

◆Argus Biomass Nordics and Baltics

月日 2019年10月29日(火)～31日(木)

場所 コペンハーゲン (デンマーク)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biomass-nordics-baltics>

◆23rd edition ECOMONDO The Green Technology Expo

月日 2019年11月5日(火)～8日(金)

場所 リミニ (イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

◎European Biomass to Power Conference

月日 2019年11月6日(水)～7日(木)

場所 ヘルシンキ (フィンランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆5th Power & Energy Tanzania 2019

月日 2019年11月7日(木)～11月9日(土)

場所 ダルエスサラーム (タンザニア)

<https://www.expogr.com/tanzania/powerenergy/>

◆Future of Biogas Europe 2019

月日 2019年11月13日(水)～14日(木)

場所 アムステルダム (オランダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

◆European Methanol Summit

月日 2019年11月13日(水)～14日(木)

場所 ドュッセルドルフ (ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-methanol-summit/>

◆Shanghai International Exhibition on Heating Technology 2019

月日 2019年11月25日(月)～27日(水)

場所 上海 (中華人民共和国)

<https://www.heatecchina.com/Heatec19/idx/eng/home>

◆ALGAEUROPE 2019

月日 2019年12月3日(火)～5日(木)

場所 パリ (フランス)

<https://algaeurope.org/>

◆BIOGAS Convention & Trade Fair

月日 2019年12月10日(火)～12日(木)

場所 ニュルンベルク (ドイツ)

<https://www.biogas-convention.com/en/>

◎European Pellet Conference 2020

月日 2020年3月4日(水)～6日(金)

場所 ヴェルス (オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◆The WORLD SUSTAINABLE ENERGY DAYS 2020

月日 2020年3月4日(水)～6日(金)

場所 ヴェルス (オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎Biomass Brno

月日 2020年3月31日(火)～4月4日(土)

場所 ブルノ (チェコ共和国)

<https://www.bvv.cz/en/biomass/>

◆10th European Algae Industry Summit

月日 2020年4月29日(水)～30日(木)

場所 レイキャビク (アイスランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae->

[industry-summit/](#)

◆KWF Tagung 2020

月日 2020年7月1日(水)～4日(土)

場所 ヘッセン州シュヴァルツェンボルン(ドイツ)

<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

◆POLLUTEC

月日 2020年12月1日(火)～4日(金)

場所 リヨン(フランス)

<https://www.pollutec.com/en/home/>

◆Elmia Wood

月日 2021年6月2日(水)～5日(土)

場所 ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/wood/>

5. 平成31年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇蘭越町「住宅エコ化支援事業」

<http://www.town.rankoshi.hokkaido.jp/kurashi/index2.html>

◇上川町「平成31年度上川町住宅リフォーム等補助金」

<https://www.town.hokkaido-kamikawa.lg.jp/section/kensetsusuidou/d57c9r0000000wah.html>

【青森県】

◇三沢市「建物リフォーム等事業費補助金」

<http://www.city.misawa.lg.jp/sp/index.cfm/22,13592,17,132.html>

【岩手県】

◇釜石市「令和元年度釜石市住宅用新エネルギー導入支援事業費補助金」

http://www.city.kamaishi.iwate.jp/kurasu/kankyo/oshirase/detail/1191691_2179.html

【山形県】

◆山形県「再生可能エネルギー等設備導入事業費補助金」

<http://www.pref.yamagata.jp/hojo/kankyo->

energy/6050016saiseikanou_hojo_h31.html

◆天童市「平成31年度天童市ペレットストーブ等設置支援事業費補助金」

<https://www.city.tendo.yamagata.jp/lifeinfo/gomi/tendokankyou.u.html>

◇高島町「令和元年度再生可能エネルギー設備導入補助金」

<https://www.town.takahata.yamagata.jp/kurashi/juminnokatahe/kankyo/Saiene.html>

◇真室川町「薪ストーブ等利用拡大支援事業」

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/docs/2018120400400/>

【福島県】

◇福島県「平成31年度木質バイオマス利用ストーブ普及支援事業補助金」

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36262a/biomass-stove-jyoseikin.html>

◇桑折町「桑折町再生可能エネルギーシステム設備等設置費補助制度」

https://www.town.koori.fukushima.jp/kurashi/life/gomi_kankyo_p et_eisei/3/4128.html

◇田村市「平成31年度新エネルギー導入補助」

<http://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/sinene31.html>

【群馬県】

◇みどり市「平成31年度みどり市住宅用新エネルギーシステム等設置補助事業」

<https://www.city.midori.gunma.jp/www/contents/1554091627081/index.html>

◇前橋市「木質燃料ストーブ購入事業補助金」

https://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi_tetsuzuki/1/8/17671.html

【神奈川県】

◇小田原市「家庭用熱利用システム補助金」

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/subsidy/neturiyou.html>

【新潟県】

◇村上市「令和元年度村上市木質バイオマスストーブ設置費補助金」

<https://www.city.murakami.lg.jp/site/eco/shinene-biomass25.html>

【長野県】

◇駒ヶ根市「えがおポイント制度」

<http://www.city.komagane.nagano.jp/index.php?f=&ci=10106&i=17616>

◇佐久市「佐久市森のエネルギー推進事業補助金」

https://www.city.saku.nagano.jp/kurashi/kankyo_kogai/shin_energy/pellet.html

◇東御市「木質バイオマスストーブ設置補助事業」

<http://www.city.tomi.nagano.jp/category/zyoseijigyau/101709>

[html](#)

【兵庫県】

◇宍粟市「木質バイオマス燃焼機器補助金（薪ストーブ、ペレットストーブ）」

<https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori-saikuru/1515743499802.html>

◆宍粟市「木質バイオマス燃焼機器補助金（ボイラー機器）」

<https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori-saikuru/1515744574124.html>

【鳥取県】

◇三朝町「住宅用太陽光発電システム等設置費補助金について（令和元年度）」

<http://www.town.misasa.tottori.jp/315/319/324/764/3726.html>

◇日南町「日南町家庭用発電設備等導入推進補助金」

<http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/7/9/2/>

【徳島県】

◆上勝町「再生可能エネルギー設備設置補助金」

http://www.kamikatsu.jp/docs/2015040800013/file_contents/saiene-annai.pdf

【愛媛県】

◆内子町「平成31年度内子町地球温暖化対策機器導入促進事業」

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/10/ondankahojyo.html>

6. 公募等情報（締切順）

◇（公財）日本環境協会「2019年度（平成31年度）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（再生可能エネルギー・電気・熱自立的普及促進事業）」

公募申請受付期間 2019年4月25日（木）～6月4日（火）

<http://www.jeas.or.jp/saiene/outline/2019/01/index.html>

◇国土交通省「気候風土適応型プロジェクト2019」の第1回提案募集を開始します！

～平成31年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）～

応募締切 2019年6月5日（水）

http://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_000859.html

◇トヨタ自動車(株)「トヨタ環境活動助成プログラム 2019年度助成プロジェクト公募開始」

募集期間 2019年4月5日(金)～6月6日(木)

<https://global.toyota.jp/sustainability/esg/challenge2050/challenge6/ecogrant/>

◇(一社)日本森林技術協会、(株)森のエネルギー研究所「2019年度『地域内エコシステム』構築事業

受付期間 2019年5月8日(水)～6月7日(金)

<http://woodybio.jp/>

◇埼玉県「【中小規模事業者向け】平成31年度埼玉県事業者向けCO2排出削減設備導入補助金」

申請期間 2019年5月7日(火)～6月7日(金)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/2019co2sakugenshien.html>

◇福岡県北九州市「北九州市次世代エネルギー設備導入促進事業」

申請期間 2019年4月19日(金)～6月10日(月)

<https://www.kitakyushu.or.jp/topics/003564>

◇京都府「京の森林文化を守り育てる支援事業の平成31(2019)年度助成団体」募集

募集期間 2019年4月3日(水)～6月14日(金)

<http://www.pref.kyoto.jp/rinmu/moribunka.html>

◇環境省「2019年度(平成31年度)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(集合住宅(低層・中層)における低炭素化(ZEH-M化)促進事業)の公募について」

公募実施期間 2019年5月20日(月)～6月14日(金)

<http://www.env.go.jp/press/106839.html>

◇埼玉県「【大規模事業者向け】平成31年度埼玉県事業者向けCO2排出削減設備導入補助金」

申請期間 2019年5月7日(火)～6月14日(金)

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/daikibosien.html>

◇新潟県「平成31年度新潟県再生可能エネルギー発電設備導

入促進事業補助金」

補助金交付申請書提出期限 2019年6月14日(金)

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356915935143.html>

◇(一社)京都知恵産業創造の森「京-VER創出促進事業補助金」

申請受付期間 2019年4月22日(月)～6月17日(月)

<http://www.kyoto-eco.jp/support/y2019/kyover.html>

◇農林中央金庫「農中森力(もりぢから)基金」第6回助成事業の募集について

募集期間 2019年4月1日(月)～6月28日(金)

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2019/post-514.html

◇熊本県「平成31年度森林吸収量認証制度申請募集について」

募集期間 2019年4月1日(月)～6月28日(金)

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_23131.html

◇滋賀県「平成31年度滋賀県エネルギー活用型地域活性化プロジェクト支援事業補助金」

募集期間 2019年5月14日(火)～6月28日(金)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304218.html>

◇(一社)環境共創イニシアチブ「平成31年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業」

公募期間 2019年5月20日(月)～6月28日(金)

<https://sii.or.jp/cutback31/overview.html>

◇(一社)低炭素エネルギー技術事業組合「2019年度(平成31年度)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(CO2削減ポテンシャル診断推進事業のうちCO2削減ポテンシャル診断事業)」

公募期間 2019年4月26日(金)～6月28日(金)

<http://lcep.jp/2019/potential/koubo.html>

◇長野県「令和元年度薪によるエネルギーの地消地産推進事業の2次募集」

応募期間 2019年5月21日(火)～6月28日(金)

<https://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/31makiene.html>

◇滋賀県「令和元年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金の募集について」

募集期間 2次締切：2019年6月28日（金）
3次締切：2019年7月31日（水）
4次締切：2019年8月30日（金）
最後締切：2019年9月30日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304346.html>

◇滋賀県「令和元年度滋賀県省エネ設備導入加速化事業補助金」

募集期間 2次締切：2019年6月28日（金）
3次締切：2019年7月31日（水）
4次締切：2019年8月30日（金）
最後締切：2019年9月30日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304246.html>

◇（一財）環境イノベーション情報機構「平成30年度及び平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」

公募期間 2019年6月3日（月）～6月28日（金）
2019年7月1日（月）～7月31日（水）
2019年8月1日（木）～8月30日（金）
2019年9月2日（月）～9月30日（月）

http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0507_bs.html

◇（一財）新エネルギー財団「令和元年度『新エネ大賞』の募集開始」

募集期間 2019年5月13日（月）～7月12日（金）

https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r01.html

◇（公財）公益財団法人自然保護助成基金「第30期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成募集」

応募締切 2019年7月12日（金）

<http://www.pronaturajapan.com/announce/di30qipuronatourafan-dozhuchengmujiannai>

◇兵庫県「平成31年度地域創生！再エネ発掘プロジェクトの募集について（設備導入無利子貸付事業）」

募集期間 2019年3月14日（木）～7月19日（金）

<http://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/warming/%E8%9E%8D%E8%B3%87%E3%83%BB%E5%8A%A9%E6%88%90/tiikisaiene/>

◇関係7府省「令和元年度 バイオマス産業都市の募集について」

募集期間 2019年5月22日（水）～7月19日（金）

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/190522.html>

◇和歌山県「中小企業向け省エネ補助金の公募について」

募集期間 2019年6月26日（水）～7月31日（水）

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/d00201635.html>

◇長野県「平成31年度地域主導型自然エネルギー創出支援事業」

・第二次募集 2019年6月27日（木）～8月1日（木）

・第三次募集 2019年9月5日（木）～10月3日（木）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/tiikisyudou.html>

◇長野県「平成31年度自然エネルギー地域発電推進事業の募集について」

・第二次募集 2019年7月5日（金）～8月5日（月）

・第三次募集 2019年9月6日（金）～10月7日（月）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/tiikihatuden-suishin.html>

◇（一社）低炭素エネルギー技術事業組合「2019年度（平成31年度）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（CO2削減ポテンシャル診断推進事業のうち低炭素機器導入事業）」（2次公募）

公募期間 2019年8月1日（木）～8月30日（金）

<http://lcep.jp/2019/setsubi/koubo.html>

◇栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2019年6月3日（月）～11月8日（金）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurihojyo.html>

◇環境省「2019年度（平成31年度）『二国間クレジット制度
資金支援事業のうち設備補助事業』の公募について」
募集期間 2019年4月5日（金）～11月29日（金）
<http://www.env.go.jp/press/106662.html>

◇（一社）京都知恵産業創造の森「再生可能エネルギー設備等
導入補助事業補助金」
申請受付期間 2019年4月22日（月）～2020年1月31日
（金）
<http://www.kyoto-eco.jp/support/y2019/saiene.html>

◇鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援
補助金」
募集期間 2019年4月1日（月）～2020年2月28日（金）
<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励
金（土地）」
申請書提出期限 2020年2月28日（金）
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen_participation/shoureikin-setubi-t.html

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励
金（認定設備）」
申請書提出期限 2020年2月28日（金）
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen_participation/shoureikin-setubi.html

◇神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」
申請書提出期限 2020年2月28日（金）
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/_Incentivefee.html

◇兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備補助金」
受付期間 2019年4月1日（月）～2020年3月16日（月）
https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyori_saikuru/1515747829708.html

◇林野庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制」
適用期間 2018年4月1日～2020年3月31日

<https://www.jwba.or.jp/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8-1/%E7%9C%81%E3%82%A8%E3%83%8D%E5%86%8D%E3%82%A8%E3%83%8D%E9%AB%98%E5%BA%A6%E5%8C%96%E4%BF%83%E9%80%B2%E7%A8%8E%E5%88%B6/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導
入支援制度」
計画認定申請期間 2015年10月1日（木）～2021年3月31
日（水）
<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事
業」
事業期間 2014年度～2023年度
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

◇高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」
http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費
補助金」
http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

◇栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

◇千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

◇千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>